

## 時代が求める「個人」「組織」のあり方

～ 人材開発・組織開発 の新しい視点と具体的展開方法 ～

### ねらい

国をあげて『働き方改革』の実現が連呼されておりますが、御社ではどんなゴールを描かれていますでしょうか。

- ・「会社は、社員が仕事に打ち込める思考や環境を整える」
- ・「社員は、最も効率よく働くスタイルを見つける」
- ・「会社は社員の自主性を尊重し、社員は会社の想いに応える」
- ・「所定時間内に濃く働く風土、制度に改める」

などキャッチフレーズはさまざまですが、総労働時間短縮、働きがいにつながる組織運営、生産性が高まる執務など経営資源の「ヒト」に関する施策が多々あげられております。

当会合では、「働き方改革」実現に欠かせない「個人」がもつマインド、管理監督者の「組織」運営のポイントを考えていただく場とし、**サッカー界に学ぶ組織運営のヒント**（山本昌邦氏の講演）、本会専任講師より組織開発と人材開発の具体的展開・内容をご提言いたします。

講演や提言の内容と自部門の現状対比から、過不足な事柄をあぶりだし、次の一手を熟考されては如何でしょうか。みなさまの積極的なご参加をお待ちいたしております。

### とき・ところ

日時：平成29年7月14日（金）10:15～16:00

\*9:45から、受付開始

会場：ウインクあいち 13階 特別会議室 1301

### 講師略歴

#### 山本 昌邦 氏

サッカー解説者



1958年 静岡県沼津市生まれ（4月4日） 日本大学三島高校に進み、  
1981年 国士舘大学卒業  
1977年 日本ユース代表選出。第19回アジアユース選手権出場。  
1979年 日本ユース代表選出。ユバニシアードメキシコ大会出場  
1980年 日本代表としてFIFAワールドカップ(スペイン)アジア地区予選出場  
1981年 ヤマハ発動機（現 シュビロ磐田）サッカー部入部 ～87  
1982年 日本サッカーリーグ2部優勝  
1983年 第62回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝

引退後、日本五輪代表コーチ、U-19 日本代表監督、  
シュビロ磐田ヘッドコーチ、日本代表コーチ兼日本五輪代表監督などに  
就任し、選手指導に力を入れている  
主著に、『勝つ組織』『深読みサッカー論』などがある

#### 大山 裕之

一般社団法人日本経営協会  
専任講師



パイオニア、カンオ計算機、大前研一のコンサルタント会社を  
経て、グローバルな視点から人材育成の本質を発見。この重  
要性に気づき独立。心理学、脳科学から人間力をベースとし  
た「コーチアプローチファシリテーションCAFきゃふ」メソッドを開発。  
人間の本質を理解し、リーダーがメンバーの各々の今ある才能  
を認めることにより信頼関係を築き、その上で強みを生かした  
会議と個人の行動を促すコーチングを効果的、継続的に行う。  
このことがメンバーの成長を加速させ、少人数で成果を上げ、  
一体感のあるチームに変容させる。導入企業では1年で2億  
円の削減を果たすなど組織開発による効果を実証。またこのメ  
ソッドは、国文化を超えたチームでも効果が認められ、パリ、上  
海、台北など海外で講演多数。実際のビジネス経験から生ま  
れる納得感のある年間200日以上研修から多くの受講  
者、人事部に支持されている。コーチアプローチファシリテーター  
連盟理事長。日経プレゼンテ、TBSがっちりマンデー等  
に出演 笑顔の講演が魅力

#### 加藤 奈穂子

一般社団法人日本経営協会  
専任講師



変革型リーダーシップ研修を得意とし、研修実績は24年間で  
340社。年間220日を社員研修、組織変革コンサル  
ティングのため遠征。

アイン・エイ・ダブルでバスケットボール選手として活躍。攻  
守が瞬時に切り替わり、スピードが要求されるバスケットボール  
で身に着けたスピード感はビジネスの現場でも余すことなく発揮  
されている。「限界を突破せよ！」という理念のもと、挑戦力を  
強化し、変革力をもった人づくりのために日夜奔走。

「休暇は必要、休養は不要」という行動指針を持ち自らもス  
トイックに挑戦を続ける。近年はウルトラマラソンにも参戦し、3  
年連続で富士五湖100km、飛騨高山100km、白山  
白川100kmへの参加を果たす。

2015年、女性のリーダーシップ研修にも力を入れるため、  
一般社団法人ハンサムウーマン協会を立ち上げ、代表理事に  
就任。2016年4月早稲田大学人間科学部に編入。

# 内容

10:10～ オリエンテーション

10:15～11:45

【基調講演】山本 昌邦 氏（サッカー解説者）

## 「山本流 心をつかむ人材育成・組織運営」

ビジネス社会もスポーツの世界も、存在感のあるチームには共通項があります。それは、「多彩な才能を持つ個々人がひとつのチームになり、勝利に結びつけること」です。これらの事例や経験談の開示を受け、自部門への展開をイメージしていただくセッションです。

昼食・休憩 \* 昼食は各自でお摂りください。

12:45～14:15

【提言Ⅰ】大山 裕之（NOMA専任講師）

## 組織開発・学習する組織へ展開する人間力がベースの「コーチアプローチファシリテーション（CAF）」

CAFとは、テクニクでは生まれない原則中心のリーダーシップから真の信頼関係を構築し、モチベーションも成果も向上させる組織へ変容する手法。組織開発の新しい手法として注目され 実績も多数あります。

休憩

14:30～16:00

【提言Ⅱ】加藤 奈穂子（NOMA専任講師）

## 人材開発・働き方改革に弾みをつける「上司改造」「部下改造」研修

いわゆる「痛い」社員から一皮剥けるための即効研修のご案内です。「あまりに外部環境に疎く客観視できない」との人事教育担当者の声を反映したパワーアップ研修です。

16:00～16:40

★アンケートご記入（～16:05）

★NOMA講師と参加者の交流（希望者のみ＝申込書ご記入）

# 参加要領

日時：平成29年7月14日（金） 10:15～16:00

会場：ウインクあいち 13階 特別会議室 1301

（名古屋市中村区名駅4-4-38）



\* 公共交通機関でお越しください。

最寄駅＝名古屋駅  
（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）

名古屋駅より  
◎ JR名古屋駅桜通口から  
ミッドランドスクエア方面  
徒歩5分  
◎ ユニモール地下街5番出口  
徒歩2分

対象：経営企画や人事教育の責任者の方々

定員：70名（先着順受付・満席になり次第終了）

参加料：NOMA会員：無料 一般企業：5,400円（1社2名様まで）

申込方法：下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、そのままFAXにてお申込みください。到着確認後、「参加券」をご派遣責任者様へお送りいたします。

お申込先：一般社団法人日本経営協会 中部本部 経営開発グループ

担当／古橋（デスク）・宮澤

名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10階

TEL：052-957-4174 FAX：052-952-7418

\* 当日ご欠席の際は、電話にてその旨ご連絡をお願いいたします。

\* お電話でのお問合せは、平日(9:15～17:15)にお願いします。

一般社団法人日本経営協会 中部本部 経営開発グループ 行

## 『時代が求める「個人」「組織」のあり方』（7/14：名古屋）参加申込書

FAX 052-952-7418

平成 29 年 月 日

(フリガナ) 貴社名 団体名	-----	従業員数	TEL ( ) - FAX ( ) -
(フリガナ) 所在地	〒		ご派遣責任者（事務連絡先／参加券送付）
	ご芳名（フリガナ）	ご所属・お役職名	・ご芳名 ・ご所属 ・お役職
No.1			
No.2			
E-mail	@		16:00～16:40 「NOMA講師と参加者の交流」 <input type="checkbox"/> 参加ご希望 *ご希望の方はレ印ください

御記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。  
①参加券発送などの事務処理 ②セミナー運営 ③本会事業のご案内  
お申込時点で主旨にご同意いただいたものとさせていただきますので予めご了承下さい。  
なお、③がご不要な場合は右記□欄にチェックしてください。 □不要

【そのままFAXして下さい】